

短縮ダイヤルでかけるには 〈短縮ダイヤル〉

こんな時に便利

- よく使う番号を登録しておき、短縮した番号で電話をかけるとき短縮ダイヤルには、可変短縮ダイヤルと固定短縮ダイヤルの2種類があります。

はじめに

該当の交換機

交換機シリーズ名	型名	備考
LEGEND-Vシリーズ	LEGEND-V、LEGEND-V S100	
IP Pathfinder CS2シリーズ	CS30S2/D2、CS40S2/D2、CS60S2/D2、CS65D2、CS70D2、CS80D2	
IP Pathfinder RM2シリーズ	RM60S2、RM65D2	
IP Pathfinder CSシリーズ	CS30S/D、CS40S/D、CS60S/D、CS65D、CS70D、CS80D	
IP Pathfinder RMシリーズ	RM20S、RM60S、RM65D	
ES3300シリーズ	ES3310S/D、ES3340S/D、ES3360S/D、ES3365D、ES3370D、ES3380D	

- 個別短縮ダイヤル(可変短縮ダイヤル)は、電話機個別またはグループで使用する短縮ダイヤルです。ご利用いただくには、事前に交換機設置業者による交換機側の設定が必要です。「個別短縮ダイヤルの最大登録宛先数」「個別短縮ダイヤルのグループ割り付け」は、交換機側の設定であり電話機からの登録変更はできません。
- 共通短縮ダイヤル(固定短縮ダイヤル)は、システム全体で使用する短縮ダイヤルです。「共通短縮ダイヤルの最大登録宛先数」は、交換機側の設定であり電話機からの登録変更はできません。
- 本、短縮ダイヤルの操作手順に記載された「特番」は、交換機導入時の標準的な一例です。本手順の「特番」でご利用になれない場合、お客様の社内通信機器管理部門にお聞きになるか、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
- 新たに短縮ダイヤルサービスをご利用になりたい場合や登録宛先数を変更したい場合は、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
- DG-station100シリーズ・D-station10/30/50シリーズ・Digital Phone30/50シリーズは、専用電話機です。

可変短縮ダイヤル

発信

専用電話機	
操作前の表示 10:20 AM 3月1日(木)	
1	<p>📞 ボタンを押します。</p> <p>■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯</p> <p>「ツーツー」という内線確認音が聞こえます</p>
2	<p>発信特番 (たとえば 5) を押します。</p> <p>5</p>
3	<p>短縮番号を押します。 (例：03番のとき)</p> <p>503</p> <p>■局線ランプが緑の点灯 ■内線ランプが消灯</p> <p>「タタタタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。</p>
4	<p>受話器を上げます。</p> <p>0332163211 NTT2322</p> <p>■スピーカランプが消灯</p>
5	<p>相手が出たら話します。</p> <p>0332163211 10円 00:00:05</p>

一般電話機	
1	<p>受話器を上げます。</p> <p>「ツーツー」という内線確認音が聞こえます</p>
2	<p>発信特番 (たとえば 5) を押します。</p>
3	<p>短縮番号を押します。 (例：03番のとき)</p> <p>「タタタタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。</p>
4	<p>相手が出たら話します。</p>

- 転送するときも「可変短縮ダイヤル」を使えます。
- 内線クラスにより短縮ダイヤルが利用できない電話機もあります。

固定短縮ダイヤル

登録

電話機からの登録はできません。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 固定短縮ダイヤルではシステムで最大1000の宛先まで登録できます。

固定短縮ダイヤル

発信

専用電話機	
操作前の表示	
10:20 AM 3月1日(木)	
1	<p>🔊 ボタンを押します。</p> <p>「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯</p> </div>
2	<p>登録特番 (たとえば 6) を押します。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">6</div>
3	<p>短縮番号を押します。 (例：123番のとき)</p> <p>「タタタタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>6123</p> <p>■局線ランプが緑の点灯 ■内線ランプが消灯</p> </div>
4	<p>受話器を上げます。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>00332163211 NTT2322</p> <p>■スピーカランプが消灯</p> </div>
5	<p>相手が出たら話します。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>00332163211 10円 00:00:05</p> </div>

一般電話機	
1	<p>受話器を上げます。</p> <p>「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。</p>
2	<p>発信特番 (たとえば 6) を押します。</p>
3	<p>短縮番号を押します。 (例：123番のとき)</p> <p>「タタタタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。</p>
4	<p>相手が出たら話します。</p>

- 転送するときも「固定短縮ダイヤル」を使えます。
- 内線クラスにより短縮ダイヤルが利用できない電話機もあります。